



およその大きさ 70×65×8cm

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・濃い褐色

表面の特ちょう

- ・手触りざらざら
- ・粒子は粗粒から細粒まであり、いくぶん粒度変化の方向性がある

側面の特ちょう

- ・不明瞭ではあるが層をなしている
- ・層の下面と上面に粒度の差がある

含まれているもの

- ・不定形の岩片
- ・粒子の大きさはほとんどが2mm以下
- ・丸みを帯びているものが多い

その他の特ちょう

- ・この岩体の1層理は上部に粗粒部があり下方に細粒化するので、堆積時の上下が逆に置かれているものと考えられる



メモ

【観察メモ】

- * 土砂が海や湖に流れ込むと、重くて大きいものから沈んでいき、下から上に粒子が小さくなる (**級化層理**)
- * 層理とは粒子が堆積した時の層構造。1つの地層の表面では水流による**粒子の方向性**(弱い)が、断面では級化層理、重なった地層なら断面ではほぼ平行な**縞模様**が見られる

岩石名

砂岩 (堆積岩)